

<会員による自著紹介>

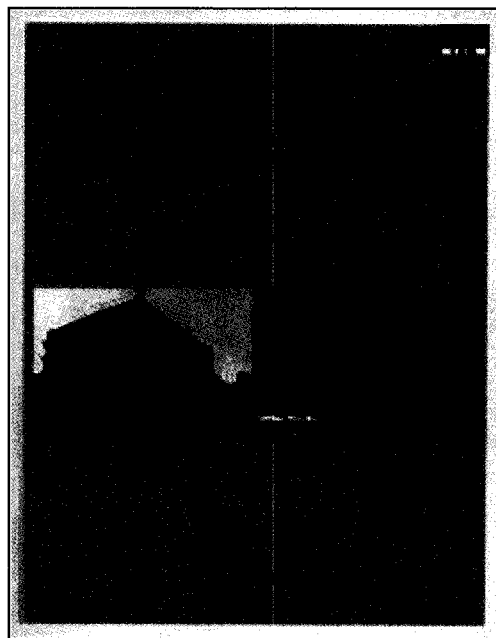
学びの質保証戦略

山田礼子

同志社大学

玉川大学出版部（2012年発行）

定価 2,600円（税別）



たちまちのうちに情報が世界に発信され、世界経済、政治、そして諸々の制度改革が世界の多くの国々に影響を及ぼすグローバル化が進展する現在、世界の高等教育は大きな問題に直面している。

グローバル社会においては、知識基盤社会が基本となり、知識基盤社会に対応できるような人材を育成することが世界の高等教育の課題となっている。そのためには、研究面における競争も激化し、世界の高等教育機関はワールドクラスの大学を目指すことになる。また、留学生を獲得するには、大学院のみならず、学士課程教育を魅力的に構造化することが不可欠となる。さらには、学士課程教育の結果としての学習成果も求められる。このような状況において、世界の多くの国々の高等教育に共通していることは、高等教育の国際化と質保証の推進である。つまり、従来は一国あるいは一地域の特性や文化、制度、言語等の枠組みのなかで、制度設計をし、教育のコンテンツも一国の言語で提供することを考慮していたことが、「国際的通用性」を基準に進展していくことが求められるようになった。同時に、いかに学士課程教育の質を保証するかという課題も「国際通用性」というマジックワードで語られるようになってきているために、世界での共通課題になっているという次第である。

こうした現状を踏まえて、本書では、知識基盤社会において、高等教育の質の充実をいかに実質化するかを、アメリカ、イギリス、オーストラリア、アジアの大学のホームページから読み解いている。巻末には、現在話題になっている様々な高等教育関係の用語についての説明も加えている。政策文書や高等教育関係の文献を読む際の用語解説として利用していただければ幸いである。